

まちかどトーク（川原地区）議事要旨

日時：令和8年2月14日（土）17:00～18:20

場所：川原地域交流センター

参加者：66人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「下水道のはなし」について下水道工務課から説明の後、質疑応答

参加者

令和7年8月の豪雨で浸水した地域に住んでいる。市で浸水対策を行っているとの説明だったが、今後の被害をどう想定しているのか。

下水道工務課

排水ポンプの運用方法を変更したことで浸水被害の軽減を想定しているが、現在の下水管では1時間に40mm以上の雨量があると道路冠水が起こる。大口径の排水管を整備しても、千保川や小矢部川の水位上昇により冠水の可能性がある。

雨水は川原小学校の横を通り、溢れた際は県道側の雨水管に流れる対策を行っている。さらなる対策として、高機能の排水ポンプの増設を検討する必要がある。

参加者

川原地区は立地適正化計画において居住誘導区域に指定されている。浸水被害発生リスクのある地域は、居住が推奨されるべきか疑問を感じる。

下水道施設の更新・長寿命化についての長期的なビジョンは。

市長

人口減少を見据えて立地適正化計画を策定しているが、内水氾濫のような問題への対応が追い付いていないのが現状である。下水道などのインフラを計画的に更新していく必要がある。

参加者

浸水被害が発生するような地域を居住誘導区域から外すことの検討や地面をかさ上げするような対策が必要では。

参加者

雨水が本管に合流する箇所や排水ポンプを使って排水箇所を増やすことができないか。

下水道工務課

近年の大雨は、河川の水位上昇の影響もあり、下水管が満水状態となり排水の流れが止まってしまう。排水ポンプの増設などは、予算を投じれば実現可能であるが、特定の地区のみ対応するのは難しいと考えている。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

マッチングアプリの活用や若者の出会いの場を創出するイベントを企画するなど、婚活支援に取り組んではどうか。

参加者

七夕まつりなどのイベントを、若い世代が主体となって企画・運営するプロジェクトにすれば、それが自然な出会いの場になると考える。

市長

イベントをきっかけに出会いが生まれ、若い世代が楽しみながら参加できるようなまちづくりを目指したい。